

皇丽梅 编著

体育专业日语

スポーツ専攻者の日本語

北京体育大学出版社

体育专业日语

スポーツ専攻者の日本語

皇丽梅 编著

责任编辑 李宝凤 孙宇辉
审稿编辑 杨 木
责任校对 鲁 松 鲁 宁
责任印制 陈 莎

图书在版编目(CIP)数据

体育专业日语/皇丽梅编著. - 北京:北京体育大学出版社,2004.8
ISBN 7-81100-187-X

I. 体… II. 皇… III. 体育-日语 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 065656 号

体育专业日语

皇丽梅 编著

出 版	北京体育大学出版社
地 址	北京海淀区中关村北大街
邮 编	100084
发 行	新华书店总店北京发行所经销
印 刷	北京市昌平阳坊精工印刷厂
开 本	850×1168 毫米 1/16
印 张	16

2004 年 8 月第 1 版第 1 次印刷

ISBN 7-81100-187-X/G·165

定 价 40.00 元

(本书因装订质量不合格本社发行部负责调换)

编写说明

2008年,第29届奥林匹克运动会将在北京举行,这是我国体育发展史上的一大盛事。

随着体育国际化的进程以及我国对外体育交流活动的不断发展,外语在提高运动成绩、推动大众健身以及体育科学知识的交流方面将发挥越来越重要的作用。因此,培养一批较高水平的既懂体育专业又具备日语语言能力的专门人才,必然会引起体育主管部门及体育院校的广泛关注。

体育专业日语,作为一门新兴的学科,在体育教学中初步形成其独特的教学体系,构建了具有体育专业特色的教学内容和教学方法。《体育专业日语》一书的出版,是在我国体育日语教科书短缺的情况下,起到了雪中送炭的作用,是一本具有指导意义的教学参考书。

该书针对体育院校学生的特点,结合本人多年的日语教学经验,所选课文内容丰富、语言规范、生动有趣、富有思想性、知识性和专业性。适合于有一定日语基础的本科学生和研究生学习。全书共22课。每课的组成,分为两个部分。第一部分为本文,包括竞技体育、大众体育、营养、健康与保健、疲劳与恢复及训练原则等。第二部分为阅读,就中日两国的风俗习惯及日常礼仪的差异进行教学,使之比较两国礼仪文化的异同。

通过该书的学习,学生可以掌握大量的体育词汇及日常用语的基本用法,从而提高学生的阅读能力和翻译能力。为适应当前国家教委举办的全国外语水平考试whk,满足广大学习者的需求,作者在编写时列出词的使用方法、语法、惯用型、练习题以及参考译文等。

在编写本教材的过程中得到了北京体育大学运动生理学杨锡让教授,统计学邢文华教授,日语专业梁文副教授、赵京惠副教授等的大力支持,在此,谨向他们表示由衷的谢意。

由于时间仓促和本人业务水平有限,文中会有错漏之处,敬请读者批评指正。

编者

2004年5月

目

录

第1課	スポーツ	(1)
	教 育	(4)
第2課	体 育	(10)
	学歴偏重社会	(12)
第3課	体育学と体育科学	(19)
	ウォークマン	(22)
第4課	トレーニングの適量①	(30)
	日本人と迷信	(32)
第5課	トレーニングの適量②	(40)
	歌舞伎	(42)
第6課	トレーニングの原則①	(52)
	着物と生け花	(54)
第7課	トレーニングの原則②	(62)
	通話公害	(63)
第8課	持久力・柔軟性	(69)
	住宅の利用	(71)
第9課	筋力トレーニング	(80)
	余暇活動と消費生活	(82)
第10課	瞬発力	(89)
	日本の英語教育	(90)
第11課	インターバル・トレーニング	(98)
	日常の行儀①	(99)
第12課	ウェイト・トレーニング	(107)
	日常の行儀②	(108)
第13課	日本は世界一の健康長寿国になる	(117)
	アジアと日本	(120)

体育专业日语

第 14 課	大衆スポーツの振興	(129)
	日本の国土	(132)
第 15 課	睡眠と健康	(139)
	日本の四季	(143)
第 16 課	生活・健康と精神	(149)
	日本人の家庭を訪ねる	(151)
第 17 課	一週間の体調	(159)
	受験戦争	(161)
第 18 課	中学生・高校生の病気	(168)
	日本人の余暇	(171)
第 19 課	栄 養	(178)
	日本人のつきあい	(180)
第 20 課	各年代に適したスポーツ	(189)
	日本人の食生活	(191)
第 21 課	体格の大型化	(200)
	アルバイト	(201)
第 22 課	肥満と痩せすぎ	(208)
	敬 語	(210)
	补充单词 (スポーツ専門用語)	(218)
	总词汇表	(226)
	参考文献	(249)

第1課 スポーツ

一、本文

スポーツという言葉の語源はラテン語 *desportare* (遊ぶ) がフランス語の *desport* (気ばらしにする遊びの総称) に変わり、更に11世紀頃にイギリスで *disport* に変わり、これがちぢまって *sport* となり、19世紀以後は世界共通語になったといわれている。したがって元来、スポーツは体を動かしての遊びを意味するものであろう。体を動かして遊びたわむれることは動物の本能であるから、誰でも自主的に行われる性質のものである。しかし、遊びたわむれる場合に漫然と行われたのでは、円滑に行われないので、一定の規則をもうけて人間の活動の一部を統制するようになった。こうしてスポーツは現在のように発達してきたといわれている。スポーツには一定のルールがあり、これを厳守しなければならないのはそのためである。

また、スポーツには趣味、興味を伴う。遊びたわむれるのは動物の本能ではあるが、本能は自分の好み、すなわち趣味、興味によって展開され、特徴づけられる。特にスポーツではその傾向が強い。趣味、興味に基づいてスポーツを本能的に始めると意欲がわき、苦しみを忘れて練習に励む。練習を積み重ねればレコードや技術の向上が見られて、いっそう興味がわくようになる。

更に、スポーツでは競争を伴う。スポーツを行い、レコードや技術の向上が見られるようになると相手を求めて競争し、勝負を決め、実力のほどを確かめてみたくなる。しかも、競争や勝負を決めることによってレコードの更新、技術の向上(高度化)が見られ、更に興味は増していく、スポーツで行う運動種目が競技種目といわれるゆえんでもあろう。

このようなことからスポーツは、一定の規則のもとに自分の興味にしたがって身体の総力をあげて、速さ、強さ、持久力、巧緻性などを競い合う身体活動であるといえる。元来スポーツは広義に解釈されるべきものであつて、狭義に解されるべきものではないが、とにかく勝敗を争い、優越感を得ようとする人間の本能を、興味をもってかりたてて行うように組み立てられているので、競争、勝負が優先的となつてしまっている。そのために、絶えず競争しようとする気持と勝とうとする意志が働く。勝つためには激しい身体活動が要求されるので、心身を酷使しながら強度の練習を続けなければならない。いわば自ら難業苦行を求め、それを遂行することに生きがいを感じるようになる。その結果、ややもすると健康に対する配慮が忘れられたり、軽視する傾向がみられるので、危険や犠牲などを伴い易い。運動障害を引き起こすのはそのためである。

体育专业日语

【新出単語】

スポーツ	[sports]	(名)	运动比赛, 体育, 游戏
言葉	[ことば]	(名)	语言, 词
語源	[ごげん]	(名)	语源
ラテン語	[ラテング]	(名)	拉丁语
運ぶ	[はこぶ]	(自五)	进展, 推进, 搬运
気ばらし	[きばらし]	(名、自サ)	散心, 消遣
総称	[そうしょう]	(名、他サ)	总称
世紀	[せいき]	(名)	世纪
disport		(名)	娱乐
縮まる	[ちぢまる]	(自五)	缩短, 缩小, 缩减
sport		(名)	游戏, 娱乐, 运动
共通語	[きょうつうご]	(名)	标准语, 普通话
元来	[がんらい]	(副)	本来, 原来, 说起来
たわむれる		(自下一)	游戏, 闹着玩
本能	[ほんのう]	(名)	本能
自主的	[じしゆてき]	(形动)	自主的
漫然	[まんぜん]	(形动)	漫然, 漫不经心
円滑	[えんかつ]	(形动)	圆滑, 流利
規則	[きそく]	(名)	规则, 规章
もうける		(他下一)	制定, 设立
統制	[とうせい]	(名、他サ)	统治, 管制
ルール		(名)	规则, 章程, 规定
厳守	[げんしゆ]	(名、他サ)	严格遵守
伴う	[ともなう]	(自、他五)	伴同, 随同, 同时发生
好み	[このみ]	(名)	趣味
展開	[てんかい]	(名、自、他)	开展, 展开
特徴	[とくちょう]	(名)	特征, 特色
つける		(他下一)	使……具有
傾向	[けいこう]	(名)	倾向, 趋势
基づく	[もとづく]	(自五)	根据, 基于, 按照
意欲	[いよく]	(名)	意志, 热情
わく		(自五)	涌出, 冒出
苦しみ	[くるしみ]	(名)	痛苦, 费力, 吃苦
励む	[はげむ]	(自五)	勤勉, 努力
積む	[つむ]	(他五)	积累, 堆积起来
レコード	[record]	(名)	运动记录
技術	[ぎじゆつ]	(名)	技术
向上	[こうじょう]	(名、自サ)	进步, 提高

第1課 スポーツ

いっそう		(副)	更, 越发
競争	[きょうそう]	(名、自サ)	竞争, 竞赛
相手	[あいて]	(名)	对手, 伙伴
求める	[もとめる]	(他下一)	追求, 征求
勝負	[しょうぶ]	(名)	优胜, 胜负, 比赛, 竞赛
実力	[じつりょく]	(名)	实力
確かめる	[たしかめる]	(他下一)	弄清, 查明
更新	[こうしん]	(名、他サ)	更新, 打破
高度	[こうど]	(名)	高度, 高级
増す	[ます]	(自五)	增长, 增多
種目	[しゅもく]	(名)	项目
ゆえん		(名)	原因, 理由
総力	[そうりょく]	(名)	全力, 通力
あげる		(自、他下一)	用尽, 使出
速さ	[はやさ]	(名)	速度
強さ	[つよさ]	(名)	强度
持久力	[じきゅうりょく]	(名)	耐力, 持久力
巧緻性	[こうちせい]	(名)	灵巧性
競う	[きそう]	(自五)	竞赛, 竞争
広義	[こうぎ]	(名)	广义
解釈	[かいしゃく]	(名、他サ)	解释
狭義	[きょうぎ]	(名)	狭义
とかく		(副、自サ)	往往
勝敗	[しょうはい]	(名)	胜负, 胜败
争う	[あらそう]	(他五)	争夺
優越感	[ゆうえつかん]	(名)	优越感
かりたてる		(他下一)	迫使, 追赶
組み立てる	[くみたてる]	(他下一)	组织, 构成
絶えず	[たえず]	(名)	不断, 经常
気持ち	[きもち]	(名)	心情, 情绪
勝つ	[かつ]	(自五)	战胜, 克服
意志	[いし]	(名)	意志
働く	[はたらく]	(自、五)	劳动, 工作, 活动, 起作用
激しい	[はげしい]	(形)	激烈的, 剧烈的
心身	[しんしん]	(名)	精神与肉体, 身心
酷使	[こくし]	(名、他サ)	任意驱使, 迫使
強度	[きょうど]	(名)	(运动强度) 负荷
続ける	[つづける]	(他下一)	接连不断, 继续
いわば		(副)	可以说, 说起来
自ら	[みずから]	(代)	亲身, 亲自

体 育 专 业 日 语

難業苦行	[なんぎょうくこう]	(名)	苦修, 刻苦练习
遂行	[すいこう]	(名、他サ)	完成, 贯彻, 执行到底
生きがい	[いきがい]	(名)	生存的意义
感ずる	[かんずる]	(自、他サ)	感觉, 感动
結果	[けっか]	(名)	结果
ややもすると		(副)	动不动, 往往
配慮	[はいりょ]	(名、他サ)	关怀, 照料
軽視	[けいし]	(名、他サ)	轻视
危険	[きけん]	(名、形动)	危险
犠牲	[ぎせい]	(名)	牺牲
ひきおこす		(他五)	引起, 惹起

二、閱 読

教 育

日本の教育制度は6・3・3・4制, つまり小学校6年、中学校3年、高等学校3年、大学4年です。そして最初の9年間は義務教育です。この期間の就職学率は100%に近いですから、日本では文盲の人がほとんどいません。文盲率は0.7%です。

高等学校への進学率は87%ぐらいですが、年々増加の傾向にあります。その率は地方より都会のほうが高いです。高等学校の卒業生の30%ぐらいが、大学へ進学しますが、入学試験を受けなければなりません。

大学は全国に約890校あります。そのうち国公立が約180校で、あとは全部私立です。大学数はアメリカが一番多いですが、日本はその次ぐらいです。しかし有名な大学に志願者が集中しますから、その入学試験の競争率は大変高いです。入学試験に落ちて、多くの学生が一年か二年浪人生活を送ります。

大学は普通4年ですが、医学部は6年です。大学の上に大学院があります。修士課程が2年、博士課程が3年です。

戦後の日本では教育制度と教育水準の向上により、平等な競争によって「階層」の段階を上る機会を与えられるようになりました。社会で地位についたり、役割を果たす場、年齢、集団における経験年数に加えたりして、学校教育の年数やどこの大学を卒業したかという学歴が重要な原因になりましたが、個人の学歴が過度に重視されるようになり、その結果、進学競争が激化するなど、学歴偏重の弊害が現れてきました。

【新出単語】

教育制度	[きょういくせいど]	(名)	教育制度
つまり		(副)	就是说
義務教育	[ぎむきょういく]	(名)	义务教育

第1課 スポーツ

就学率	[しゅうがくりつ]	(名)	入学率
文盲	[もんもう]	(名)	文盲
文盲率	[もんもうりつ]	(名)	文盲率
進学率	[しんがくりつ]	(名)	升学率
卒業者	[そつぎようしゃ]	(名)	毕业生
入学試験	[にゅうがくしけん]	(名)	入学考试
受ける	[うける]	(他下一)	接受
国公立	[こっこうりつ]	(名)	国立与公立
志願者	[しがんしゃ]	(名)	报考者, 志愿
競争率	[きょうそうりつ]	(名)	竞争率
落ちる	[おちる]	(自上一)	考不上、落榜
浪人生活	[ろうにんせいかつ]	(名)	失学生活
医学部	[いがくぶ]	(名)	医学部
大学院	[だいがくいん]	(名)	大学研究院 (培养大学研究生的机构)
修士課程	[しゅうしかてい]	(名)	硕士课程
博士課程	[はかせかてい]	(名)	博士课程
水準	[すいじゅん]	(名)	水平、水准
階層	[かいそう]	(名)	社会阶层
段階	[だんかい]	(名)	档次, 等级
機会	[きかい]	(名)	机会
与える	[あたえる]	(他下一)	给, 给予
役割	[やくわり]	(名)	分配的任务, 分派的职务
果たす	[はたす]	(他五)	完成, 实行
年齢	[ねんれい]	(名)	年龄
集団	[しゅうだん]	(名)	集团, 工作岗位
経験年数	[けいけんねんすう]	(名)	阅历长短
学歴	[がくれき]	(名)	学历
過度	[かど]	(名)	过度
進学競争	[しんがくきょうそう]	(名)	升学竞争
激化	[げきか]	(名、自サ、他)	激烈化, 剧烈化
偏重	[へんちょう]	(名、他サ)	偏重
弊害	[へいがい]	(名)	弊害, 弊病
現れる	[あらわれる]	(自下一)	出现

三、【慣用型】

1. [句] と言われている 一般认为…, 大家都说…, 据说…

言われる是「言う」的被动持续态。

・「sport」という言葉は19世紀以後世界共通語になったと言われている。

体育专业日语

(据说运动这个词 19 世纪以后成为世界通用语了。)

- ・五百年ほど前の東京は大変寂しい所だったと言われている。

(据说五百年前的东京是一个很冷落的地方。)

- ・鲁迅の文章はとても分かりにくいと言われている。

(一般认为鲁迅的文章不好懂。)

2. [动词连体形] ようになる 变得…，可以…

- ・練習を積めばレコードや技術の向上が見られて、いっそう興味がわくようになる。

(经过练习，当看到运动成绩和技术提高，便激发更大的兴趣。)

- ・いわば自ら難業苦行を求め、それを遂行することに生きがいを感じるようになる。

(只有自觉磨练，刻苦练习才会感到生存的意义。)

- ・今日は日本語で電話がかけられるようになった。

(现在能用日语打电话了。)

3. [动词现在时・名词の] ため(に) 由于…，因为…

類義語：…から 因为… (强调原因)

…ので 因为… (强调后果，不能下接推量式和命令式。)

…ゆえに 因为…… (书面语)

- ・スポーツには一定のルールがあり、これを厳守しなければならないのはそのためである。

(竞技运动有一定的规则，因此必须严格遵守它。)

- ・大雨のために運動会が中止になった。

(因下大雨，运动会终止了。)

- ・勝つために激しい身体活動が要求される。

(为了取胜要求剧烈的身体活动。)

4. [体言] によって 由于…，因…的不同，通过…，根据…

(表示方法，手段，依据不同情况产生不同结果。)

- ・本能は自分の好み，すなわち趣味，興味によって展開される。

(本能是根据自己的爱好，即根据趣味和兴趣来开展活动。)

- ・競争や勝負を決めることによってレコードの更新，技術の向上が見られ，更に興味は増していく。

(由于竞赛和决定胜负将打破记录及提高技术，进一步增强了兴趣。)

- ・日本には火山の噴火によって，出来た湖がたくさんあります。

(在日本有许多因火山爆发而形成的湖泊。)

5. [动词基本形] べきだ 应该…，必须…

[动词基本形] べきではない 不应该…

サ变动词后接“べきだ”时则是“すべきだ”。

- ・元来スポーツは広義に解釈されるべきものであつて，狭義に解されるべきものではない。

(其实竞技运动是广义地而不应当狭义地解释。)

第1課 スポーツ

- ・若者は年寄りを尊敬すべきだ。
(年轻人应尊重老年人。)
- ・学生はまず第一に勉強すべきだ。
(学生应该以学习为主。)

四、【練習】

(一) 次の文の下線をつけた漢字の読み方を書きなさい。

1. スポーツは19世紀以後は世界共通語になったと言われている。

- | | | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|----------|
| 世紀 | A. せいき | B. せきい | C. せぎい | D. ぜいき |
| 共通語 | A. きょうつうご | B. きようつうご | C. きょうつごう | D. きよつおう |

2. 競争や勝負を決めることによって、レコードの更新、技術の向上がみられる。

- | | | | | |
|----|---------|----------|----------|----------|
| 競争 | A. きょそう | B. きようぞ | C. きょうぞう | D. きょうそう |
| 勝負 | A. しょうぶ | B. ひょうぶ | C. しょうふう | D. しょうぶう |
| 更新 | A. ごうしん | B. こうしん | C. こうぎん | D. こうひん |
| 向上 | A. こじょう | B. ごうじょう | C. こうひょう | D. こうじょう |

3. 心身を酷使しながら、強度の練習を続けなければなりません。

- | | | | | |
|----|---------|---------|---------|----------|
| 心身 | A. ひんしん | B. しんしん | C. しんひん | D. ころみ |
| 酷使 | A. こくひ | B. ごくじ | C. こくし | D. こくじ |
| 強度 | A. きょうど | B. ひょうど | C. きょうと | D. きょうどう |

4. 日本では文盲の人がほとんどいません。

- | | | | | |
|----|---------|---------|---------|--------|
| 文盲 | A. ぶんもう | B. ふんもう | C. もんもう | D. もんも |
|----|---------|---------|---------|--------|

5. 有名な大学に志願者が集中しますから、その入学試験の競争率は大変高いです。

- | | | | | |
|-----|------------|-----------|------------|-----------|
| 志願者 | A. じかんしゃ | B. しかんしゃ | C. しがんしゃ | D. じがんしゃ |
| 集中 | A. ちゅうちゅう | B. しゅうちゅう | C. じゅうちゅう | D. ちゅうじゅう |
| 競争率 | A. きょうそうりつ | B. きょそうりつ | C. ぎょうそうりつ | D. きょうそりつ |

(二) 次の文の○の中に適当なものを入れなさい。

- スポーツは体○動かしての遊び○意味するものです。
- 一定の規則のもとに自分の興味○したがって身体の総力○あげる。
- 勝つためには激しい身体活動○要求される。
- 危険○犠牲など○伴う。
- 入学試験○落ちて、多くの学生○一年か二年浪人生活○送ります。
- 大学へ進学する前○入学試験○受けなければなりません。
- 昔の家は暑い夏にも風○よく入りました。
- 一番前にいる○はだれですか。
- まだ日本語で話す○○ができません。
- スポーツ○スポーツマン○理解するために大きく貢献している。

(三) 次のA.B.C.Dから正しいものを一つ選びなさい。

16. 魯迅の文章はとても分かりにくい_____。
- | | | | |
|-------------|-----------|----------|------------|
| A. と言われています | B. ことができる | C. と言います | D. ようになります |
|-------------|-----------|----------|------------|

体育专业日语

17. 田中さんはこの部屋から出て_____。
A. いきました B. きました C. いました D. ありました
18. 子供は遠くから走って_____。
A. ありました B. いきました C. きました D. いました
19. 飛行機がだんだん小さくなって_____。
A. いました B. ありました C. きました D. いきました

五、【参考訳文】

竞技运动 (sports)

竞技运动一词来源于拉丁语的 *desportare* (搬运), 后来变成法语的 *desport* (消遣、游玩的总称), 进而到了十一世纪左右, 在英国变成 *disport* (娱乐), 又把这个词缩写为 *sport* (运动), 据说十九世纪以后成为世界的通用语。可见原来竞技运动意味着活动身体的游戏。活动身体进行游戏玩耍是动物的本能, 所以谁都能单独进行。但只是随便地闹着玩又无规律, 因而制定了一定的规则, 把人们活动的一部分统一起来。据说就是这样, 竞技运动发展到现在的样子。竞技运动有一定的规则, 因此必须严格遵守它。

竞技运动伴有趣味和兴趣。游戏玩耍是动物的本能。而本能是根据自己的爱好, 即根据趣味和兴趣来开展活动并各有特色。特别是在竞技运动中这种倾向较大。基于趣味和兴趣本能地开始竞技运动, 就会激发出热情, 忘却痛苦而努力去练习。经过练习, 当看到运动成绩和技术提高后, 就激发更大的兴趣。

再者, 竞技运动中带有竞争性。运动中看到成绩或技术提高了, 就想找个对手比试一下以决定胜负并确定自己的实力。由于竞赛和决定胜负将打破记录及提高技术 (水平), 进一步增加了兴趣。这也是把竞技运动中开展的运动项目叫做竞技项目的原因。

因此, 可以说竞技运动是以一定的规则为基础, 根据自己的兴趣, 用尽全身的力量来比试速度、强度、耐力和灵活性等的身体活动。其实竞技运动应当广义地而不应当狭义地解释。可是往往把争夺胜利, 获得优越感作为人的本能。以有兴趣的方式组织起来参加竞赛, 所以竞争和胜负便成为第一位了。为此, 不断地想竞争的心情和想取胜的意志在起作用。为了取胜要求剧烈的身体活动, 所以不得不迫使身心接连不断地进行大运动量的练习。可以说是自觉磨炼, 刻苦练习, 只有这样做才会感到生存的意义。结果往往有忘记注意健康和轻视健康的倾向, 容易出现危险和伤害。这也是造成运动损伤的一个原因。

教 育

日本的教育制度是六三三四制。就是说小学六年, 初中三年, 高中三年, 大学四年。前面九年是义务教育。这一期间的入学率接近百分之百, 因此日本几乎没有文盲, 文盲率约为千分之七。

初中毕业升入高中的升学率为百分之八十七左右, 并有逐年增加的趋势。城市升学率比农村高。百分之三十左右的高中毕业生升入大学, 但必须经过入学考试。

全国约有八百九十所大学。其中国立和公立的约有一百八十所，其余全部是私立的，大学数量美国最多，日本大约是第二位。但是由于人们都集中报考著名的大学，因此入学考试的竞争率非常高。很多学生考不取，而要过一两年失学生活。

大学一般为四年，医学系为六年。大学上面还有大学研究院。硕士课程为两年，博士课程为三年。

战后，由于日本教育制度完善和教育水平提高，人们通过平等竞争获得提高“社会阶层”档次的机会。确定社会地位时除了看年龄和工作岗位的阅历长短之外，还要看你是哪所学校毕业的，所谓“学历”就成了重要的判别标准。过分重视个人学历结果出现了升学竞争激烈化等偏重学历的弊病。

六、【参考答案】

- (一) 1. A B 2. D A B D 3. B C A 4. C 5. C B A
 (二) 6. を を 7. に を 8. が 9. や を 10. に が を
 11. に を 12. が 13. の 14. こと 15. と を
 (三) 16. A 17. A 18. C 19. D

第2課 体 育

一、本 文

教育を知育、徳育、体育の三分野に区別し、体育を知育、徳育などと並立、あるいは対立して考えられていたこともあった。また、保健体育と称するように、専ら身体の成長、健康の維持、増進をはかることを目的とするのが体育であるように考えられてもいた。

しかし、現在では広い視野に立って、従来よりも拡大して広義に解釈されるようになった。体育の特色は身体運動を通して、あるいは身体運動を主軸として行われる教育であり、体育では身体の発育、発達、健康の増進などの身体能力を涵養することにある。このことは他の教育分野と異なり、他の教育分野では果し得ない使命を体育では負わされているわけである。

また、体育では身体的機能ばかりでなく、精神的機能に重点をおくようになった。その結果、体育は知育、徳育などと並立、あるいは対立するものでもなければ、身体の発育、発達を促進したり健康の維持、増進をはかるばかりのものでもない。身体的にも精神的にも、その健全な成長を促進させるものである。身体運動を実践することによって身体の成長を促進し、健康の促進をはかるとともに知能の発達を促進し、感情や意志の陶冶、並びに社会性の獲得に寄与し、人格の形成を目的とする科学であると言われている。体育は身体運動を通じての人間形成の科学、あるいは学問であると言われるのはこのためである。また、体育はすべての者に必要であると言われるゆえんでもある。

このようにスポーツと体育はその意義や使命に多少の相違がみられる。それにもかかわらず、同一視されたり、誤解を招いたりすることがある。それはスポーツと体育は同じ運動種目を用いて身体運動を行っているためである。

スポーツの特徴はルールを重んじ、そのルールにそって運動することである。そしてある場合には能力をためすため他人と勝負したり、レコードに挑戦したりする。したがって、スポーツでは相手を求め、それに標的をおいて練習し、運動する。これに対し体育は心身の健全な発達、健康の維持増強などを重んじて運動する。したがって、常に各人の体の調子に標的をおいて運動することに意味がある。ただこの場合、漫然と運動したのでは円滑に行われないうえにスポーツ種目を利用しているに過ぎない。

しかし、スポーツといえども健康を無視してよいはずはない。スポーツでも体育でも常に心身の状態を考慮し、安全に努め、精神障害、運動外傷を引き起こさないように努めることが大切である。

【新出単語】

知育	[ちいく]	(名)	智育
徳育	[とくいく]	(名)	德育
並立	[へいりつ]	(名、他サ)	并立, 并列
対立	[たいりつ]	(名、自サ)	对立
保健体育	[ほけんたいいく]	(名)	保健体育
称する	[しょうする]	(他サ)	称为, 叫做
専ら	[もっぱら]	(副)	专门, 专心, 完全
成長	[せいちょう]	(名、自サ)	成长
維持	[いじ]	(名、他サ)	维持
増進	[ぞうしん]	(名、自、他サ)	增进, 增加
図る	[はかる]	(他五)	企图, 计划
視野	[しや]	(名)	视野, 眼界
従来	[じゅうらい]	(名、副)	以来, 直到现在
拡大	[かくだい]	(名、他サ)	扩大
特色	[とくしょく]	(名)	特色, 特征, 特点
通じる	[つうじる]	(自上一)	通过
主軸	[しゅじく]	(名)	主轴, 主体
身体能力	[しんたいのうりよく]	(名)	身体能力
涵養	[かんよう]	(名、他サ)	培养
得る	[うる]	(他下一)	能……
使命	[しめい]	(名)	使命, 任务
負う	[おう]	(他五)	担负, 负担
重点	[じゅうてん]	(名)	重点
おく		(他五)	放
促進	[そくしん]	(名、他サ)	促进
健全	[けんぜん]	(形动)	健全
実践	[じっせん]	(名、自サ)	实践, 实行
陶冶	[とうや]	(名、他サ)	陶冶, 熏陶, 培养
並びに	[ならびに]	(接)	及, 和, 与, 并且
寄与	[きよ]	(名、自サ)	寄与, 有助于
人格	[じんかく]	(名)	人格
形成	[けいせい]	(名、他サ)	形成
意義	[いぎ]	(名)	意义, 意思
多少	[たしょう]	(名)	多少, 稍微
相違	[そうい]	(名、自サ)	相差, 不同
同一視	[どういっし]	(名、他サ)	同样看待
誤解	[ごかい]	(名、他サ)	误解, 误会
招く	[まねく]	(他五)	招待, 惹起